

(付表2)

期待される人財像

住野工業 株式会社

当社は、以下に掲げた人財像を目指し、階層別・職能別および課題別に分け、年度教育計画を確立し体系的・計画的にその育成を図る。

1. 経営理念および経営方針の実現に着手に取り組む人財の育成

経営理念や経営方針は、トップマネージャーの経営に対する基本的な考え方であり、経営活動の羅針盤の役割を果たす重要なものである。社員一人ひとりには、共通の目的である経営理念や経営方針の実現に向けて、協調の意思を持って取り組んでいく必要がある。

したがって、当社はこの事業運営を左右する経営理念や経営方針の具現化に取り組む**有能な人財**の育成を図る。

2. 高いマネジメント能力を有し、かつそれを部門・グループの業務運営に確実に具現化する優れた人財を育成する。

管理者が、マネジメント領域の業務を遂行しなければ部門、グループが分担した業務目標は達成することができない。成果をあげる上で重要な役割を担っているのは、部門・グループ目標の達成責任を負う管理者である。

したがって、当社は、成果をあげるための的確なマネジメント能力を発揮し得る**有能な管理者**の育成を行う。

3. 各職位が担当する職務を遂行する上で必要な知識・技能を有する人財を育成する。

経営目標を達成するため、各職位にはそれぞれの任務・役割が付与されている。各職位がその付与された任務や役割・責任を果たしてこそ経営目標を達成することができる。

したがって、当社が求める人財は、各職位が組織において付与された職務・職責を遂行する上で**必要な能力を有する人材**の育成を行う。

4. 自らの意識改革に取り組み、熱意と気力を持って仕事にチャレンジする人財を育成する。

職場には問題が山積している。しかし、常に問題意識を持って観察しなければ発見することはできない。また、決定事項や立てた計画、対策は実行されないとその意味を持たない。

したがって、常に身近な職場に対して問題意識を持ち、**変革を求め、かつ実行力がある優れた人財**の育成を行う。

5. 広い視野と豊かな教養を兼ね備えた立派な社会人を育成する。

企業運営にとって地域社会との関係は重要である。社員は会社発展のためにベクトルを合わせて業務を遂行することは当然のことであるが、同様に地域との協調を図り、地域から「居ていただきたい企業」「居て欲しい社会人」として認められる「**信頼のブランドを継承できる企業人**」を育成する。

6. 多角的な専門能力を有し、技術革新を先取りする優れた専門職を育成する。

これまで当社は業界の変化を先取りし、あらゆる分析・検討を行い技術に対して誠心誠意打ち向かってきた。企業競争の「勝ち組」となるためには業界・社会の動向を的確に捉え先行することが求められる。

したがって、今後も最先端を行く未来型ファクトリーとして、**社会の変革と技術の革新に立ち向かう専門職**を育成する。